

★「恩寵の考え方が教会の権威づけになった」のはどうしてだろう？

.....「人は、教会を通して恩寵を受け取らなければ、生きられない」と考えられるようになったため、長い時間の経過の間に、教会は、教会が説く教えに従わない人（たとえ国王であろうとも）を破門して、人間たる資格を奪うことができるようになった。そのため中世のカトリック教会は（神に近い立場になり、格差が生まれ）、絶大な権威をもつことになった。...

.....（このことを別の言葉で表現すれば、イエスの教えとは本来異質な「権威主義的服従」の論理が教会組織の中に混在するようになったとも言える。そして、この教会の権威主義的なあり方に対する反対運動として、後年のプロテスタント教会の発生を位置づけることが可能）。

★「信仰に熱心な科学者」は、なぜ信仰と科学研究が両立するのだろうか？

.....その科学者にとって「神の栄光」とは「自然（宇宙）を作った神の偉大さ」。つまり科学を研究することによって自然（宇宙）の理を明らかにすればするほど、その自然（宇宙）を作った神の偉大さが明らかになる、と考えているのだろう。.....